

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 4 月 14 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

ありとあらゆる分析理論があるのですが、私が理解するところでは、ここまでご説明してきた移動平均線と株価との関係、マドと株価との関係、そしてこれからご説明する一目均衡表の理論、この3つを知っておくだけで十分だと思います。なかでも一目均衡表の理論は特に優れているように思います。これから少しずつご説明していきます……

一目均衡表といえば、すっかり有名になったのが雲(正しくは先行スパン)。しかし雲というのは私が研究した範囲では、それほど重視しなくてもいいと思います。もっと大切なことが一杯あります。

6041 ボッシュオートの一目均衡表チャートをご覧ください。3月11日安値 **188** 円以降の足取りを見ますと青色の点線に沿って上昇を続けていることがわかります。この青色の点線を**転換線**と呼んでいます。つまり、**上に行く力が大変強い銘柄は下げたとしても転換線が下値の壁**になることが多いのです。

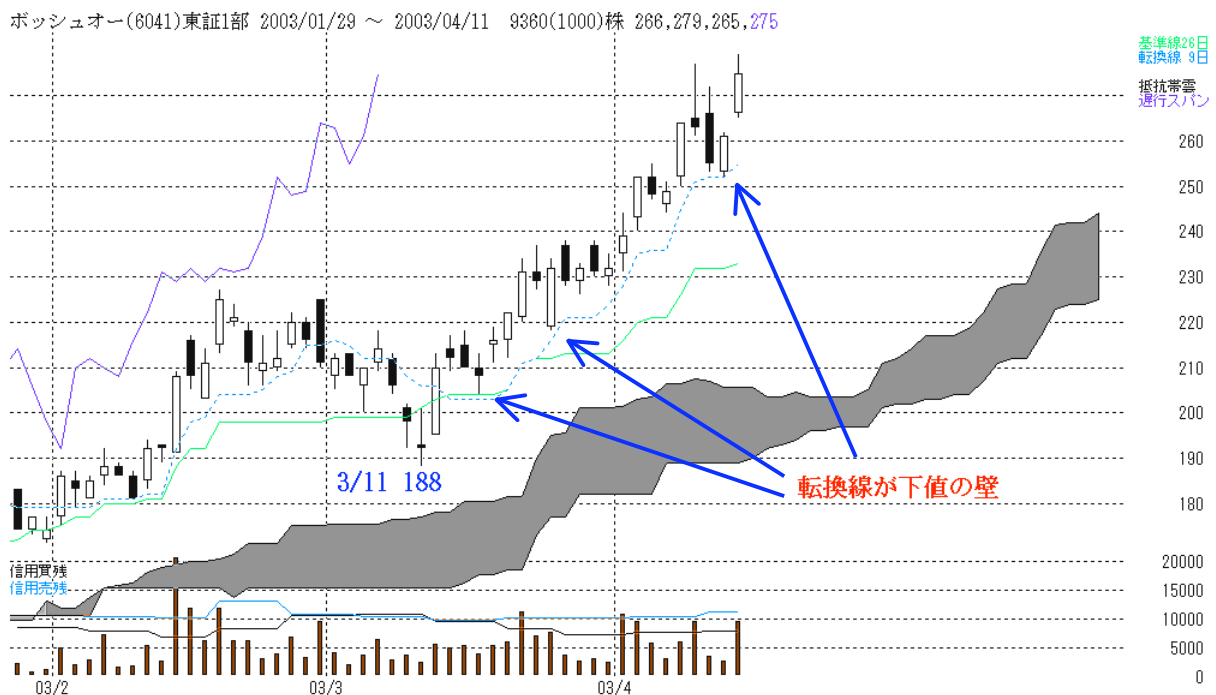
“転換線とは、立ち合い日数過去9日間の高値と安値のちょうど中間値段のことで”たとえば立ち合い日数過去9日間の高値が **500** 円で安値が **460** 円とすると、このちょうど中間値段は **480** 円。これがこの時点の転換線ということになります。

結論を先に書きましたが、上に行く力が大変強い銘柄は下げたとしても転換線が下値の壁になることが多い。つまり、立ち合い日数過去9日間の高値と安値の中間値段前後が下値のメドになることが多いのです。 次回に続きます

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 質問メールは dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレフォンサービスの「やさしいチャート教室」 **03-3669-5552** で放送中、是非お聞きください。

《ボッシュオート》日足



このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。